



結
yui

2015. 11. 15 No.66

発行「憲法9条の会つくば」
〒305-0005
つくば市天久保 1-10-12 1-401
TEL 080-5888-7824
Fax 029-856-2286
<http://peace.arrow.jp/tsukuba2/>



12.19 憲法9条の会つくば設立10周年記念のつどい

語り継ぐ戦争の体験

一戦後70年、平和の未来へ

戦後70年の今年、日米防衛協力のためのガイドラインを具体化し、海外での武力行使を可能にする憲法違反の安保法制が国会で強行採決、成立しました。法案に反対する市民・学生・学者・弁護士などの行動が、全国津々浦々で展開され、成立したあとも、安保法制をなくすまでは決してあきらめない持続的な取り組みが行なわれています。未来に敏感な若い人たちの国会前での新鮮な発言は国民の心に響き、私たちを励ましています。

11月1日に開かれた「九条の会茨城県連絡会」設立記念のつどいでは、安保法制廃棄を目指す会場一杯の熱気につつまれました。大学生・高校生と講師の小林節さん・二見伸明さんとの対話の中で、若者たちから9条の会などとの連携を発展させたい、そのために県連絡会の設立は大きい意義があるとの期待が語られました。

10周年記念のつどいにお越しください

憲法9条の会つくば「10周年記念のつどい」は、「語り継ぐ戦争の体験一戦後70年、平和の未来へ」をテーマに掲げました。三つの講演があります。

満蒙開拓青少年義勇軍入隊、関東軍入隊、ソ連収容所抑留の戦中・戦後の体験を通し、満蒙開拓とはなんであったのかを問い続けてこられた吉野年雄さんの講演。

学徒出陣、海軍少尉として沖縄海域で船団護衛の任につき、戦後、平和の証をたてていく使命を帯びたキリスト教の伝道者として生涯を貫かれてきた渡辺信夫さんの講演。

安保法制反対の論陣を各地で行い、政治経験が豊かな元公明党副委員長の二見伸明さんには、今後の展望と戦いについてお話しいただけます。

憲法9条を守り生かし、戦争する国にさせないた



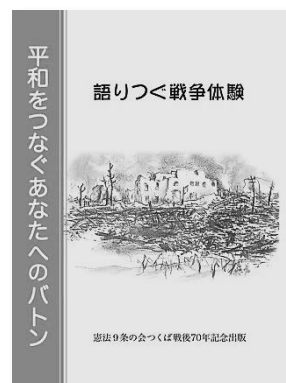
前号「結」で10周年のつどい日程を12月12日とお知らせしましたが、**12月19日**に決定しました。お詫びして訂正致します。

めに、皆様、10周年記念のつどいにお集まりください。戦争の体験とそれを背負って生き抜かれた講演者に学び、語り継ぎ、今後の運動に生かそうではありませんか。皆様のご来場をお待ち申し上げます。
(10周年記念のつどい実行委員会)

冊子「平和をつなぐあなたへのバトン 語りつぐ戦争体験」が完成

10周年記念のつどいの開催に合わせ憲法9条の会つくばは戦後70年記念出版として、標記の冊子を作成しました。つくばにゆかりのある21人の方の手記、5名の方へのインタビューの記録など、当時の実体験を通して、先の戦争はいったい何だったのか、人々に何をもたらしたのかを知ることができます。

ぜひ賛同人の皆様手に取っていただき、多くの方に広めていただくようお願いいたします。(三浦)





全国各地から1000名近い参加者を得た「九条の会茨城県連絡会」設立記念のつどいで出されたアピールを掲載します。「戦争法」廃止、安倍政権を退陣させるために、力を結集していきましょう。

「九条の会茨城県連絡会」設立記念のつどいアピール

本日、「九条の会」茨城県連絡会設立記念のつどいに参加した私たちは、11年前、2004年6月10日に発表された『九条の会』アピールを改めて高く掲げ、国民のなかに広げていきたいと固く決意します。アピールは、こう訴えています。

「日本国憲法は、いま、大きな試練にさらされています。ヒロシマ・ナガサキの原爆にいたる残虐な兵器によって、五千万を越える人命を奪った第二次世界大戦。この戦争から、世界の市民は、国際紛争の解決のためであっても、武力を使うことを選択肢にすべきではないという教訓を導きだしました。侵略戦争をしつづけることで、この戦争に多大な責任を負った日本は、戦争放棄と戦力を持たないことを規定した九条を含む憲法を制定し、こうした世界の市民の意思を実現しようと決心しました。しかるに憲法制定から半世紀以上を経たいま、九条を中心に日本国憲法を『改正』しようとする動きが、かつてない規模と強さで台頭しています。その意図は、日本を、アメリカに従って『戦争をする国』に変えるところにあります。そのために、集団的自衛権の容認、自衛隊の海外派兵と武力の行使など、憲法上の拘束を實際上破ってきています。また、非核三原則や武器輸出の禁止などの重要施策を無きものにしようとしています。そして、子どもたちを『戦争をする国』を担う者にするために、教育基本法をも変えようとしています。これは、日本国憲法が実現しようとしてきた、武力によらない紛争解決をめざす国の在り方を根本的に転換し、軍事優先の国家へ向かう道を歩むものです。私たちは、この転換を許すことはできません。」

第一次安倍晋三内閣の出現に、憲法九条の「改正」、戦争する国への変質の危機をみた大江健三郎氏ら九人による国民へのメッセージは、いま、第二次安倍内閣による暴走的な立憲主義破壊、戦争法の強行採決、国連安保常任理事国入りから軍事貢献大国化への露骨な野望を目の前にして、ますます輝きと説得力を増大させています。

戦争法案に反対する国民の歴史的な闘いは、戦後70年間に蓄積されてきた国民の平和を希求する潜在力のつよさ、政府がたくらむ戦争を防止し、民主主義を守らんとする国民のつよい意志と優れた行動力をまざまざと示しました。

闘いに確信をもって引続き、戦争法の執行を阻止して若者の戦死・殺傷行為を止めさせ、この悪法の廃棄にむけて来夏の参議院選挙で戦争法廃棄勢力を勝利させる闘いを押し進めていきましょう。

さらに、安倍首相率いる自民・公明両党の憲法「改正」国民投票では、圧倒的多数で「改正」否決を実現するように今から日常的に国民の中で「九条の会」アピールを広げ、戦争放棄・恒久平和の理解者、賛同者を拡大していく活動をすすめていきましょう。

「日本と世界の平和な未来のために、日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、『改憲』のくわだてを阻むため、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまずぐ始めることを訴えます。」

「九条の会」アピール末尾のこの訴えに真剣に答えて頑張りましょう。

2015年11月1日

「九条の会茨城県連絡会」設立記念のつどい・参加者一同

「九条の会茨城県連絡会」設立記念のつどい
多数ご参加ありがとうございました！

11月1日「市民ホールやたべ」で開催された設立記念のつどいは、全県から1000人近い参加者があり大きな成功を収めました。9条の会つくばからも、青年や、赤ちゃん・幼児連れの若いママから熟年の方まで、多彩な参加がありました。また、開催現地のため、駐車場担当、保育担当などの会場に入れない苦勞の多い担当を多く引き受けていただき感謝しております。パネラーとして、筑波大学生3人と市内の高校生1人が参加し、若々しくフレッシュな意見表明をしてくれたことも印象的でした。筑波大生の一人は、新聞各紙にも登場しているSEALDs（シールズ）の諏訪原健さんです。彼らの歯切れのよい主張を聞き「筑波大生のイメージが変わった！」という感想を持たれた方も多かったようです。講師の憲法学者、小林節さんは野党がまとまれば来夏の参院選で勝てる、と野党の結集を呼びかけ、元公明党副委員長の二見伸明さんは、野党のみならず与党の中にも安保法制反対の人は少なからずいるはず、と指摘されました。諏訪原さんも野党の共同の必要性を強くアピールされました。講演後の若ものと講師の討論では、若い世代の投票率を

上げるための取り組みについての提案などもあり、次の参院選で身近な筑波大学にどんな変化があるのか、楽しみにになりました。勿論、野党の結集と共同を実現するには、野党の出方を待っているのではなく市民の側から共同を要求していくことが不可欠です。それぞれの地域の事情を考慮しつつ、創意的な活動を作り上げていきたいと考えます。このつどいの模様は地方紙2紙、全国紙2紙に取り上げられました。講演と討論の全容を録画したCDも制作される予定ですので、ご入用の方は世話人またはメールでご連絡下さい。最後になりますが会場が遠く、また館内の音響に不備があり、ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び致します。

(穂積妙子)



当会では原則第1日曜日に定例署名行動、9日に9の日署名を行なっています。また直接個人署名を頂いております。ご協力に感謝致します。11月からは「戦争法の廃止を求める統一署名」も行なっています。皆さまのご参加お待ちしております。

「憲法9条の会つくば」の活動から



- ◆賛同人 2015年11月10日現在
総数 923名 (市内 672名)
- ◆9条署名 11月10日現在 16,044筆

ランタン行動
& 9の日署名

▼9月25日(金)、10月2日(金)つくば駅前ランタン行動を行ないました。両日とも20名近い参加者があり、戦争法は廃止！アベ政治 NO! の訴えをしました。▼10月9日(金)12:00～アルス前で9の日署名を実施しました。参加者4人。平日の昼下がり、アルス前を通る人はあまり多くはなく、図書館を訪れる人も少なく、ひっそり閑としていましたが、チラシ約100枚を配布しました。(O)
▼11月9日(月)西武前で署名を行ないました。

川柳の会
報告と募集

▼10月10日(土)の午後、春日交流センターで川柳の句会を開きました。講師の太田紀伊子さんを含めて7名の句会でした。川柳用語をひとあたり教えて頂き、作品を課題別に集めて(「国」12句、「和」10句、及び「自由題」8句)、名前を伏せた作品に一人当たり2点を1句、1点を3句選ぶ方式で、得点を競ったり、手直しをして頂いたり、感想を出し合うなど交流を深め、楽しかったという声を頂いています。高得点の作者は先生から書籍の賞品を頂いたりしました。またやりましようとのこ

10.21 茨城
県南集会

と、機会がありましたら、ぜひご参加ください。11月30日(月)を募集期限として、川柳作品の募集を行ないます。題は「平和の未来へ」「和」「国」および自由題です。太田紀伊子さんに入選句を選んで頂き、つどいの会場で掲示・表彰します。課題吟は「与えられた課題(大体が言葉)に添う内容で作る作品」ということで、課題の言葉を織り込まなければならないということではないようです。皆さまの投句をお待ちします。詳しくは、同封の「募集のお知らせ」チラシをご覧ください。(川柳9条教室担当)
10月21日午後6時から、竹園公園で開かれた上記集会に憲法9条の会からも10数人の賛同人が参加しました。集会では実行委員長の小滝学研労協議長から、「労働組合は政治課題には関わらない方がいいという意見が根強いが、安保法制が実施され戦争国家になれば労働条件うんぬんの話などあり得なくなる。安保法制廃止に全力を挙げよう」との挨拶があり、続いて市民ネット、新社会党、日本共産党などの議員からの挨拶もありました。憲法9条の会つくばからは、長田前代表が決意表明をし、11年

前九条の会ができた時の声明文を紹介しつつ現在の厳しい情勢について述べ、11.1 九条の会茨城県連絡会のつどいへの参加を呼びかけました。集会には約 250 人が参加、戦争法廃止を訴えパレードしました。(H)

10.24 つくば アクション

秋風がさわやかな 10月24日、つくばセンターで「戦争NO! 安倍政権NO! 10・24 つくばアクション」が開催された。

この行動は「第3回総がかり行動つくば」として開かれたもので、約1時間半、多様な市民が個人としてリレートークを行ない、安全保障関連法制(戦争法)に絶対反対、アメリカの言いなりで、独裁色を強める安倍政権の退陣を求める発言が相次いだ。集会後、ほぼ全員がパレードに参加、通りがかりの人々に戦争法への反対とパレードへの参加を呼びかけた。

今回の総がかり行動の特徴は、若い人々が中心になって企画されたことである。チラシの作成も、司会も2人の筑波大学医学生、リレートークをした人もシルズのメンバー、ママ・パパの会メンバー、参加者の中からも発言したい、という若者が2人いて、これまでの「総がかり」とは少し違ったものとなった。新しい運動への期待が膨らむ行動であった。(長田)

行動予定

- 11月27日(金) ランタン行動18:00~研究学園駅
 12月3日(木) 13:00~つくば駅A3出口前
 「アベ政治を許さない!」ポスター掲示
 12月9日(水) 署名行動 12:00~アルス前(予定)
 12月11日(金) ランタン行動18:00~つくば駅
 17日(木) つどい実行委員会、事務局会議10:00~
 市民活動センター
 19日(土) 10周年記念のつどい(チラシ参照)
 25日(金) ランタン行動18:00~研究学園駅
 2016年1月17日(日) 定例世話人会 10:00~
 並木交流センター(予定)「結」67号発行

インフォメーション

◇私たちはあきらめない! 戦争法廃止! 安倍内閣退陣! 国会正門前集会

日時: 11月19日(木) 18:30~/場所: 国会議事堂正門前
 呼びかけ: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会(略称「総がかり行動実行委員会」)

◇報告・討論会「道をあけろ 私たちを逮捕するな 戦争法制と9.16国会前弾圧を考える」

日時: 11月29日(日) 14:00~16:30
 場所: つくば市吾妻交流センター大会議室/参加費 500円
 お話: 学生ハンスト実行委員会の逮捕された方
 主催: 茨城不安定労働組合+戦時下の現在を考える講座
 連絡先: 090-8441-1457(加藤) 080-5459-9576(鈴木)

◇澤地久枝さんよびかけ「アベ政治を許さない!!」 同じポスターを全国一斉にかかげよう

12月3日(木) つくば駅A3出口前 13:00 しっかりと、全国いっせいに「アベ政治を許さない」ポスターを掲げます。

◇12.8不戦のつどい

日時: 12月8日(火) 18:30~
 場所: つくばサイエンス・インフォメーションセンター

語りつぐ戦争体験

平和をつなぐあなたへのバトン

憲法9条の会つくば戦後70年記念出版

読みながら、昭和11年と12年生まれの私の両親が話していた戦中戦後の話や、中学の時の国語の先生が授業を脱線しては話していた話を思い出しました(少年の頃グラマンの機銃掃射を受けたが、半分遊びのような感覚だったという)。

10代の私にはそういう話が怖くて悲しい話ではあったけれど、40代の今、この本を読みながら感じている現実感をもって迫ってくるものではなかったなと思います。特に若い息子を戦地に送るお母さんたち、幼い子どもを飢えや命の危険にさらしながら、逃げまどったお母さんたちの辛さはどれほどだったかと思うと胸が痛くなります。更に辛いのはその場その時ばかりではなく、戦後何十年も悪夢に悩む人、苛酷な体験を誰にも話すことができない人、精神を病んでしまう人——「戦争に行きたくないというのは自己中心的だ、エゴだ」と言う人がいますが、このようなこともよく知った上での発言なのでしょう。戦争を体験した方々の「いかなる大義のためにも絶対に戦争をしてはいけない」という言葉はとても重い言葉です。体験記から伝わるのは、一度戦争が始まったら、前線も銃後も大儀など関係ない悲惨に巻き込まれ、そこから逃れる術はなくなってしまいうこと。愛する家族、大切な財産、祖国を守るために戦争をしているはずが、戦争によって守れるものではない、ということです。国語の先生も亡くなってしまい、私の母も今年80歳、このような体験記を本というかたちにすることが、今こそ必要なことだと思いました。編集員の方々、ありがとうございました。(塩見直子)

内容: 茨城原水協、加藤氏による「2015年NPT再検討会議参加報告」サラダの会朗読劇「ヒロシマ・ナガサキ2015」
 資料代: 500円
 連絡先: 12.8不戦の集い実行委員会 TEL/Fax029-861-7320
 (学研労協気付)

◇アーサー・ビナード新春講演会

日時: 2016年1月17日(日) 13:30~開場 14:00開演
 場所: 馴柴コミュニティーセンター
 テーマ: おめでたいニッポンには春が来るのか? —アメリカから見た日本と、日本を見抜くアメリカ/資料代: 500円
 主催: 九条の会アピールを広める会・竜ヶ崎
 連絡先: 0297-66-5098(石川)

◇戦争法廃棄! 安倍内閣退陣! 1.26鎌田慧第講演会

日時: 1月26日(火) 18:00
 場所: 土浦市民会館大ホール /参加費: 500円
 主催: 1.26鎌田慧講演会実行委員会
 連絡先: 戦争をさせない1000人委員会 県南協議会 TEL
 090-3094-7326(坂本) 憲法を守り・いかす土浦共同センター
 TEL090-3537-2632